

田原市の概要



日本風景街道



渥美半島菜の花浪漫街道

～ 花が彩る潮騒のエコガーデンロード～



日本風景街道と連携した「道の駅」の次世代観光拠点としての整備推進

凡例

日本風景街道

日本風景街道
渥美半島
菜の花浪漫街道



蔵王山展望台



田原城址



宇津江の夕景



河津桜と菜の花



国道
259
ROUTE

① 田原めっくんはうす



電照菊夜景

田原市



国道
42
ROUTE

② あかばね
ロケーション



③ 伊良湖
クリスタルホール



伊良湖畔



菜の花畑



ロングビーチ



太平洋岸自転車道

常春の渥美半島
菜の花が咲き誇る
2つのメインロード、国
道42号と259号に
よって渥美半島を
めぐる約60kmルート

3つの重点「道の駅」、
ナショナルサイクルルート
太平洋岸自転車道も
含まれる



◆取り組み状況

道を舞台にした地域活性化 渥美半島菜の花浪漫街道

【第3次アクションプラン】
現在、改訂手続中

<基本理念>

花が彩る潮騒のエコガーデンロード



平成31年3月策定

渥美半島菜の花浪漫街道パートナーシップ会議

■ 道づくりプロジェクト・人づくりプロジェクト

- A. 菜の花エコプロジェクトの推進
農地の管理と遊休農地の活用
住民との交流の促進
- B. 花壇の管理(幹線道路)
沿道花壇の花植えの推進 重点取組
- C. 草取りの推進
清掃活動の推進
市民活動のネットワーク化
- D. 案内看板の設置
- E. 自転車道の活用と整備
- F. 花・海・エコに関する教育の充実

■ 郷づくりプロジェクト・人づくりプロジェクト

- G. 花・海・エコに関するイベントや商品の提供
既存資源の活用と新しい旅行形態の導入
住民との交流の促進
- H. 道の駅を核とした情報の発信
情報の集約とタイムリーな発信
市民活動のネットワーク化
- I. 花・海・エコをPRする施設の導入
- J. ビュースポットの整備
- K. “語り部”等の育成
住民との交流の促進

渥美半島が抱える防災面の課題

○能登半島地震（R6.1.1発生）踏まえ、半島振興法において、「半島防災」の重要性が明確化されるとともに、南海トラフ地震の被害想定見直しがされ、30年以内に発生する確率が60～90%程度以上に修正（R7.9）されました。

そのため、渥美半島が抱える防災面の課題に早期に対応する必要があります。



南海トラフ地震 道路被害予測

○南海トラフ地震により渥美半島は津波、山地崩壊、液状化等による道路寸断が予想される。
 ○道路啓開「くしの歯作戦」では、1次緊急輸送道路の国道259号は STEP 2・STEP 3、渥美半島の西半分と田原臨海地区へはSTEP3となっており、半島中央に道路がない先端地域の住民(1万7千人)や観光客(1千人)が長期孤立する恐れがある。

南海トラフ 田原市の被害予測(田原市作成)

